

明治大学大学院 商学研究科 博士前期課程
「シニア入試を志願される方へ」

1. はじめに

本資料にて、シニア入試の概要及び、FAQ をご案内いたしますので、出願を検討される際には、**募集要項と併せて、必ずご一読ください。**

2. 商学研究科について

(1) 概要

研究科名：明治大学大学院商学研究科商学専攻（※専攻は一つ）

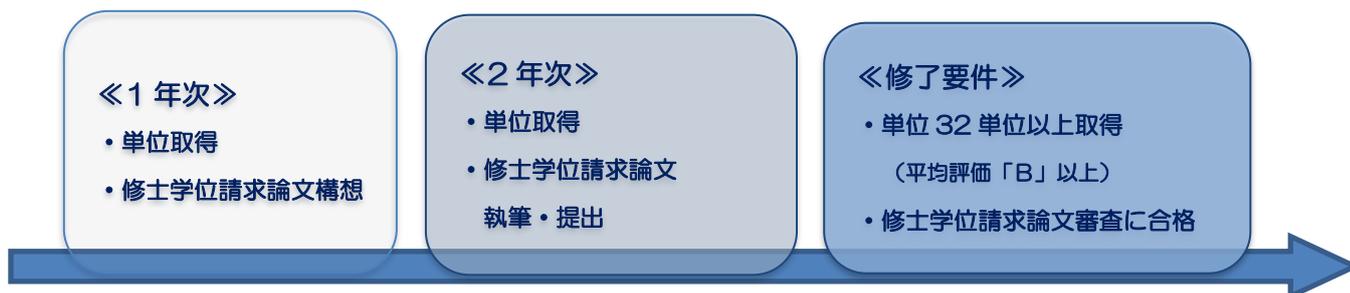
系列：専攻を**8つの系列**に大別

経済、商業、経営、会計、金融・証券、保険、交通、貿易系列

(2) カリキュラム

授業科目：主に講義と演習（各 100 分）

(3) 修了までのプロセス



※1 年次には主に授業科目を履修し、2 年次には修士論文の執筆に多くの時間を充てる

※入学後は、**外書（主に英語）を読む力**や、論文執筆・研究活動に**パソコンスキル**が必要

(4) 商学研究科とビジネススクールの違い

商学研究科	ビジネススクール (MBA)
<ul style="list-style-type: none"> ・研究者養成 ・修士学位請求論文の執筆が必須 ・“商業活動”に関わる幅広い科目が設置されている ・商学の「理論」を中心に研究する 	<ul style="list-style-type: none"> ・実務家養成 (社会人学生の割合が高い) ・経営学、経営学に関連した科目を学ぶ

3. シニア入試について

(1) 目的

長年の職業経験を新たな「実践知」の「創造」に結び付け、次世代に「伝承」しようとする、意欲あるシニア層の研究を支援すること

(2) 出願資格

次の2つの条件を満たすことが必要です。

- ①大学（短期大学は含みません。）を卒業した者又は入学までに卒業する見込みの者
- ②入学時に60歳以上の者

※なお、出願者は、シニア入試の理念を実現すべく、同一の職種または業種（進学後の研究テーマと同一の職種または業種）に25年以上の勤務経験を有する者であることを原則とします。

(3) 選抜方法

選者は下記①および②の二段階方式とします。筆記試験はありません。

①書類審査

「履歴書」および「研究計画書」を審査対象として、書類審査合格者を決定

②面接試問

書類審査合格者には5,000字程度の「小論文」の提出を課し、これと「研究計画書」に基づいて面接試問を実施。

※「小論文」の詳細は、「書類審査合否通知」と共に郵送します。

4. お問い合わせ

明治大学大学院事務室商学研究科担当

メール：shoken@mics.meiji.ac.jp

お問い合わせされる前に次頁以降のFAQをご参考ください。

以上

「シニア入試FAQ」

1. 商学研究科について

Q. 明治大学大学院商学研究科では、(商学の中で)どの分野の研究ができますか？

A. 当研究科には、「経済」「商業」「経営」「会計」「金融・証券」「保険」「交通」及び「貿易」の8つの系列が設置されており、これらの系列に関する研究を行うことができます。

Q. 修了まで何年かかりますか？

A. 博士前期課程の標準修業年限は2年間です。最長で4年間在籍できます。なお、商学研究科博士前期課程を修了すると「修士(商学)」の学位を取得することができます。

Q. 学費はいくらかかりますか？

A. 募集要項にてご確認ください。

2. 授業について

Q. 授業はシニア院生だけで行われるのですか？

A. いいえ。シニア院生だけを対象とした授業は行っていません。授業は、他の入試(一般入試、留学生入試等)で合格した大学院生と一緒に行われます。また、入学後は、シニアであることに対する特別な配慮はありません。一般の大学院生と全く同じ条件により、通学・履修しなければなりません。

Q. 夜間みの通学で修了することはできませんか？

A. 履修する授業科目次第ですが、夜間の時間帯に開講されている授業はそれほど多くないため、昼間の時間帯の通学も必要になると考えてください。

Q. 土曜・日曜の授業開講状況はどのようになっていますか？

A. 日曜日に授業は行っていません。また、土曜日については、開講している授業もありますが、土曜日の通学のみで修了に必要な単位をすべて修得することはできません。

Q. 英語ができないと授業についていけませんか？

A. 学問の世界では英語が共通言語になりつつあります。研究対象分野によって程度は異なりますが、英語力が不可欠とされる授業もあります。一概には言えませんが、英語力の不足から授業の理解が困難となる場合が多いと思われます。

Q. 授業は、どのような形式で行われますか？

- A. 商学研究科の授業は「講義」「演習」「文献研究」という3つの形式に分類されます。学部の授業との違いは、**演習形式で行われる授業の割合が多いこと、ほとんどの授業が10名未満の少人数で行われること**等があげられます。このため授業では受け身ではなく、積極的・自主的な姿勢が求められます。また、一部の授業は対面ではなくオンライン形式（メディア授業）で実施される場合があります。

3. 出願資格について

Q. 商学以外の分野の研究はできませんか？

- A. 当研究科は「商学」を対象とする研究科であるため、教育学や政治学など商学以外の分野の研究はできません。

Q. これまで商学に関係しない仕事をしてきたのですが、大丈夫ですか？

- A. **商学（の研究分野）に、直接関係する仕事の経験は必須です。**
シニア入試の目的は、長年の職業経験を新たな実践知の創造に結び付け、次世代に伝承することにあります。言い換えると、職業経験から得た知識を、修士（商学）の学位を得るための「学術論文」という形にするということです。したがって、**これから新たに商学を研究したいという方は、シニア入試の対象外となります。**（この場合は、シニア入試ではなく、一般入試を受験してください。）

Q. 定年を迎えていないのですが、出願資格はありますか？

- A. 2019年度入試より、**定年退職による制限はございません。**但し、出願資格に記載されているとおり、入学時に60歳以上の方が対象となります。

Q. 短期大学の卒業生に出願資格はありますか？

- A. シニア入試は、特別入試という位置づけであり、4年制の大学を卒業していること（学士であること）を出願資格として定めています。このため**短期大学卒業者は、シニア入試の対象外となります。**

4. 出願書類について

Q. 研究計画書の書き方がわからないので、教えてもらえませんか？

- A. **研究計画書は合否判定の審査対象書類となっておりますので、「研究計画書」の作成要領に基づき、志願者自身で考えて作成してください。**これまでのキャリアを踏まえたうえでの大学院入学後の研究計画（予定）を具体的に記述してください。

Q. 志望指導教員はどのようにして決めたらよいのでしょうか？ また、各指導教員の研究分野を教えてくださいませんか？

A. 大学院事務室では指導教員についての案内等はありません。電話やメール等での相談にも原則応じかねます。「明治大学大学院商学研究科ホームページ」「明治大学専任教員データベース」「商学研究科教員プロフィール（後日ホームページに掲載）」「授業内容（Oh-o! Meiji システム）」等で調べて、各自で指導教員を決めてください。（※入学後に指導教員の変更はできません。）

◆ 明治大学大学院商学研究科ホームページ（「教員スタッフ」の項を参照）

http://www.meiji.ac.jp/dai_in/commerce/index.html

◆ 明治大学専任教員データベース

<http://gyoseki1.mind.meiji.ac.jp/mjuhp/KgApp>

◆ 商学研究科シラバス

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/commerce/syllabus.html

（「ゲストログイン」から入ってください。）

Q. 入学試験前に志望する指導教員と事前に面談する必要はありますか？

A. **必要ありません。**仮に事前に面談できたとしても、そのことが入学試験の合否判定に有利に働くことは一切ありません。

以 上

明治大学大学院商学研究科